

体操・日本チーム

柴田選手、優勝に貢献

田辺出身 米国で国際試合

アメリカのカリフォルニア州で1日、若手の体操選手が参加した国際大会が開かれ、田辺工業高校出身で、順天堂大学3年生の柴田快輝選手(21)が主将を務める日本チームが団体優勝した。国際大会に大学生の日本代表として出場するのは、田辺工業高校体操部の出身者では初めてで、優勝に大きく貢献した。

試合はスタンフォード大学であり、日本、アメリカ、カナダ、フィンランド、ノルウェーの5カ国の大学生が参加。団体と個人で競った。日本チームは21歳以下の大学生で編成。他国のメンバーには五輪

や世界選手権に出場した実力選手もいた。柴田選手は、あん馬、鉄棒、平行棒の3種目にエントリー。出場選手の中でトップクラスの得点をたたき出し、種目別で鉄棒と平行棒が2位、あん馬は3位の成績を残した。柴田選手は、順天堂大学体操部の主将も務めている。柴田選手は「日本代表の主将として大会に参加できて優勝してうれしい。田辺西牟婁地方で体操をしている後輩のよう

目標になれたらと思うって試合に臨んだ。(優勝と聞いて)結果が出てうれしく思う」と話している。



柴田快輝選手